



釧路湿原森林ふれあい推進センター

【当センターの活動】

北海道の東部に位置する釧路地方は、釧路湿原と阿寒摩周の二つの国立公園やラムサール条約登録湿地など、雄大な自然環境に恵まれた地域です。

釧路湿原森林ふれあい推進センターは、根釧西部森林管理署が管理・経営する国有林を主な活動区域として、森林環境教育、地域との連携・普及啓発、自然再生・生物多様性保全の取組に重点を置き、教育関係者、ボランティア団体・地域住民、行政機関などの活動支援や技術指導を行っています。当センターでは、地域との連携として木育イベント等に参加しており、その一部を紹介します。

【ふれあい木工クラフト】

釧路市内にある「あすなろ会こども遊学館」では、毎年ゴールデンウィーク期間中に、木や森林について学ぶコーナーや多くの体験型イベントが開催され、多くの小学生が親子連れや友達同士で楽しんでいます。当センターでは、「ふれあい木工クラフト」の開催のほか、「つみっきー」の貸出や、木とタネの標本の展示を行っています。



ふれあい木工クラフトの様子

【白糠町カミングパラダイス】

白糠町では、9月上旬に駅前の商店街を歩行者天国にして、露店の出店やちびっ子縁日などが行われる、大人から子どもまで楽しめるイベントが開催されています。当センターは、白糠町緑化推進委員会の木育の取組と連携して、「木工クラフト」を開催しています。フォトフレームの飾り付けや

自由工作を楽しむ姿が見られます。



白糠町カミングパラダイスの様子

【くしろ木づなフェスティバル 2024】

釧路市観光国際交流センターにて、5年に一度開催される「くしろ木づなフェスティバル」が2024年10月末に行われました。今回は、木を「見て」「触れて」「感じる」体験を通じて釧路の「木づな」を創り、釧路産木材の積極的な活用を促すことを目的に、道産材を使った車作りや、トドマツ・カラマツを使ったアロマウォーター作りなど、38ブースが展開され、多くの来場者で賑わいました。根釧西部森林管理署は「お山ん画」と「リン子ちゃん」の等身大パネルを展示し、当センターはマツボックリやドングリ、木の枝などの森林の素材を使った木工クラフトを開催しました。



くしろ木づなフェスティバルの様子

【おわりに】

当センターでは、このほかにも植樹イベントや森林環境教育などを実施しています。活動報告やイベント情報、広報誌「飛鶴の森林」などを掲載しておりますので、下記 URL からご覧ください。

https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html